

主な記事
2・3面 2025都本部賃金確定闘争 それぞれの課題
都本部青年部コースセミナー
都本部障労連学習会
コラム 自分の将来は自分で守る時代、将来への自己防衛を進めますか？
都本部版情報ポータルサイトの名前を募集します！
4面 私のおすすめ (立川市社会福祉協議会職員労働組合 執行委員長 安藤 徹)
憲法理念の実現をめざす 第62回護国大会

自治労東京

千代田区飯田橋3丁目9番3号
SKプラザ4階
電話 03-3556-3755
自治労東京都本部発行
企画 総務局
責任者 松村 誠治
編集者 西岡 芳宏
1部10円 (但し組合員は組合費に含む)

2025都本部賃金確定闘争 結果 各単組が深夜まで粘り強く交渉



▲東京地公労「2025秋季年末闘争勝利！総決起集会」にて決意表明を述べる笹川書記長 (11月6日・都庁第二本庁舎前広場)

都・区・市町村、賃金引上げ 一時金増を実現 制度改善も大幅前進

都労連は11月11日を最終回答日として闘争に臨み、特区連および東京清掃労組は11月20日を交渉のヤマ場として交渉を積み上げ、それぞれ深夜におよぶ最終交渉を経て、賃金確定闘争の決着を図った。市町職では自治労および都本部方針に基づき11月13日のヤマ場交渉を基軸に、21日段階で15単組が賃金改定にかかる妥結を図った。物価上昇に及ばないものの月例給については全級・全号給の引上げ改定、一時金の支給月数は再任用職員も含めて0・05月引上げとなる。

〈東京都〉

東京都における賃金交渉では、自治労都庁職、東京交通労組が東京都との交渉組織である都労連に結集し、交渉に臨んだ。都労連交渉の結果、賃金改定については、東京都人事委員会勧告どおりの内容で、全級全号給の引上げ改定、一時金の支給月数増を実現させ、年内支給を都側に判断させた。また、住居手当は年度末年齢27歳までの職員に対する金額の引上げも勧告通りとし、その他、勧告で検討すべきとされた育児や介

〈特別区〉

特別区連、東京清掃労組は区長会との交渉を行い、11月20日未明に妥結に至った。賃金改定については、特別区人事委員会勧告どおりに全級・全号給の引上げを確認した。特区連は区人勧で示された2018年の行政系人事制度改正に伴う降格者に対する差額支給を今年度末で終了することは到底受け入れられないとし、激変緩和措置などの対応をとるべきと追及した。区長会から2026年3月31日をもって差額支給の取扱いが終了するが、激変緩和措置により、昇任制度の特例の導入など、対象者への一定の対応を図り、あわせて職層構成比の適正化の推進に資する制度構築を確認した。また、東京清掃労組が昨年、「清掃職員に係る賃金水準及び人事制度の抜本的改善」を検討課題の組上に載せた到達点を踏まえ、人材確保の観点から、課題を共有した上で、意見交換の場などを積極的に活用し、議論を重ねてきた結果、技能・業務系職員に係る人事給与制度の改善が図られた。業務職給料表については、改定給料表1・2級は行政職給料表の最低改定額を上回り、3・4級は同程度の引上げを獲得、あわせて2026年4月適用とする新たな業務職給料表を勝ち取った。2008年に平均9%の引下げなど、不当に引下げられてきた現行給料表から平均10・4%の賃金水準を回復する到達点を獲得した。また、採用年齢上限の引上げ、初任給決定方式の改善、技能・業務系職員に係る職の設置基準の改善(職場人数を単位とした基準の廃止)など、かつてない大きな前進を図った。

〈市町職〉

市町職の自治体22単組のうち、21日段階で妥結を確認した単組は15単組となった。市町職は都制度に準拠し、賃金改定は都労連妥結と同様に都人勧どおり、全級全号給の引上げ改定、一時金支給月数の引上げを確認した。一方で、改定を受け入れない当局も一部で見

自治労東京 ホームページのご案内

組合員のための
情報盛りだくさん
・機関紙デジタル版
・家電の限定優待販売



<https://jichitokyo.jp/>

組合員専用ページ
パスワード「tohonbu」

東奔西走

昨今、スマホやパソコンの普及により、これがないと生活が成り立たないと感じている。電車に乗る時もスマホに登録した交通系IC、コンビニでは「ペイペイ」職場に行けばパソコン。職場での職員同士の会話は、チャットという具合である。これが現代の生活スタイルであり、当たり前の世の中になっているのも事実である。情報伝達はタイムリーでなくては受け入れられないのが、今の世の中である。そのため組合もこの時代に合った運動を展開する必要がある。▼都本部では時代の流れに合わせるため、2026年4月から運用できるよう情報伝達ツールの作成に着手した。タイムリーな情報が組合員の皆さんのスマホに届けられることとなる。▼しかし、組合運動の普遍的な柱は執行部と組合員の顔の見える関係性であり、情報伝達の一部がデジタル化されても、人と人とのつながりや助け合いをわすれず、取り組みをすすめていかなければならない。(新海)

お問い合わせ・ご相談は ●〈中央ろうきん〉へ取次ぎをご希望の方は組合事務所まで ●商品・サービスの詳細は



●11月29日(土)からユーロスペース
(☎03-3461-0211)、シネマ・チュブキ・
タバ(☎03-6240-8480)で公開
©2025 映画『みんな、おしゃべり!』製作
委員会

映画
シネマジャーナル
編集者
穂雲 萌

『みんな、おしゃべり!』

監督…河合健

日本手話VSクルド語が衝突する

前代未聞の言語大合戦

ろう者の日本人家族とクルド一家が繰り広げる、日本手話とクルド語のかみ合わない、誇り高き小競り合いの行方を描くコメディ。

ある日、一家はクルド人街おこしを計画し、マイノリティを誘致しようとす

のが、古賀家の聴者である夏海と、クルド人一家で日本語が話せるヒワだった。

追えない対立が続く。家族たちの小競り合いが続く中、間に立つ夏美とヒワは、仲直りの方法を模索するうち仲良くなっていく。

そんな中、夏海の弟・駿がノートに書いた謎の文字が学校だけでなく、小さな対立は、街を巻き込む事態になっていく。

CODA(ろうの親を持つ聴者の子ども)である河合監督が、日本手話とクルド語を題材にしたオリジナル脚本で、消滅危機言語、コミュニケーションの問題に取り組んだ。



『メジャーリーグの球団 ドジャース』

立川市社会福祉協議会職員労働組合

執行委員長

あんどう とおる
安藤 徹

私のおすすめは、メジャーリーグの球団ドジャースだ。ワールドチャピオンになったばかりで興奮冷めやらぬ中執筆している。ワールドシリーズでは大谷翔平選手が9打席連続出塁でMVPと

投手の伝説的な活躍でMVPとなった。佐々木投手や他の選手の活躍からも元気をもらえるのでおすすめだ。

大谷選手についてもう少し話す。ネットニュースなどの記事を見ると、人

柄について書かれているものが多くある。野球選手として一流の実力だけでなく、グラウンド以外の振る舞いも評価されているのがよくわかる。

「連帯」の精神を感じることが多い。組合活動では、仲間とともに声を上げ、より良い労働環境をめざして協力し合うことが大切である。ドジャースのように、

個々の力を結集し、チームとして成果を上げる姿勢は、私たちの活動にも大いに参考になるはずだ。

スポーツを通じて学べることは多く、ドジャースの試合を観るたびに、連帯の力や挑戦する勇気を感じる。

これからの彼らの活躍を応援しつつ、自分たちの現場でもその精神を活かしていきたい。

戦後80年 未来につなぐ平和憲法 憲法理念の実現をめざす 第62回護憲大会

全国から約1、100人が参加
高市政権の大軍拡・改憲へ警鐘

11月8日、平和フォーラム等で構成される実行委員会は、日本国憲法の平和理念を広めることなどを目的として、憲法理念の実現をめざす第62回大会(護憲大会)を横浜市内で開催し、全国から約1、100人が参加した。1日目の開会総会で主催者挨拶に立った染裕之護憲大会実行委員長は「自民党は、憲法や安全保障といった基本軸で対立をしない保守色の強い政策を掲げる日本維新の会との連立によって、さらに保守色を強めた政策を打ち出していく



▲シンポジウムの様子

ことが重要である。そのためには私たち市民の力によって政治を動かすという視点が必要である」「日本の人権政策はプロモーション(推進すること)の法律をつくった後、プロテクション(権利侵害時の救済)の法律ができていない」といった意見が交わされた。2日目、3日目には憲法・外国人差別・基地問題等について分科会、フィードバックや全国各地からの取り組み報告などが行われた。

高市首相は11月7日の国会審議の中で、中国による台湾への武力侵攻が起きた際、安全保障関連法に基づく存立危機事態になり得ると発言し、集団的自衛権を行使する可能性に言及した。戦争は最大の人権侵害と言われるが、集団的自衛権の行使の結果として戦争が始まれば個人の権利は守られなくなる。都本部は平和憲法を堅持し、憲法理念を実現させることが重要であることを念頭に、引き続き恒久平和の実現にむけた取り組みを進めていく。

この特典は、組合員である 「あなた」だけのもの



日立の家電製品を自治労東京組合員に
特別価格でご提供
専用サイトからお気軽にお求めいただけます



パスワード「tohonbu」